

事業概要 【IoTセンサーを利用した中心市街地の駐車場混雑状況見える化】

実施地域	鳥取県鳥取市	事業費	8,072千円
実施主体	鳥取県鳥取市	人口	183,383人
事業概要	<p>鳥取市では中心市街地活性化基本計画を策定し、広域から様々な人々が中心市街地に集うことで、地域や多世代がつながり、賑わいや活力のある、山陰東部の中核を担う中心市街地を目指した取り組みを行っている。</p> <p>中心市街地のエリアの1つである鳥取城跡周辺地区において、観光交流等による来街者の受け入れ態勢を強化するため、来街者が鳥取城跡周辺地区の駐車場の空き状況をスマートフォン等でリアルタイムに確認できるシステムを構築し、鳥取城跡周辺地区へのアクセスの向上と観光交流の促進を図る。</p>		
具体サービス	<p>鳥取城跡周辺地区の駐車場にカメラを設置して空き状況を計測し、スマートフォン等でリアルタイムに確認できるようにする。</p> <p>【駐車場の空き状況情報発信システム】 <実施予定の駐車場（3か所）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・片原駐車場 ・わらべ館 ・民間の駐車場1か所（検討中） 	<p>スマホ等で確認</p>  <p>駐車場（カメラで空き状況を検知）</p> <p><small>大規模なシステム導入は不要！ カメラ映像で出来る駐車場満空検知</small></p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①システムの年間アクセス数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①鳥取城跡周辺地区の観光客数</p>	

事業概要 【大型ごみ収集オンライン受付事業】

実施地域	鳥取県鳥取市	事業費	5,896千円
実施主体	鳥取県鳥取市	人口	183,383人
事業概要	<p>住民の利便性向上のため、受付センターを一元化した上で、従来の電話に加え、インターネットでの24時間受付に対応する。また、支払い方法についても現金・納付券シールに加え、キャッシュレス決済による支払いを可能とする。</p>		
<p>具体サービス</p> <p>【大型ごみ収集受付サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収集申込受付 ・ キャッシュレス決済 	<p>大型ごみデジタル化のイメージ</p>		
<p>主なKPI</p> <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① インターネットからの申込割合 ② ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 従来の受付時間外の申込件数 ② 大型ごみ収集受付サービスの満足度 ③ 		

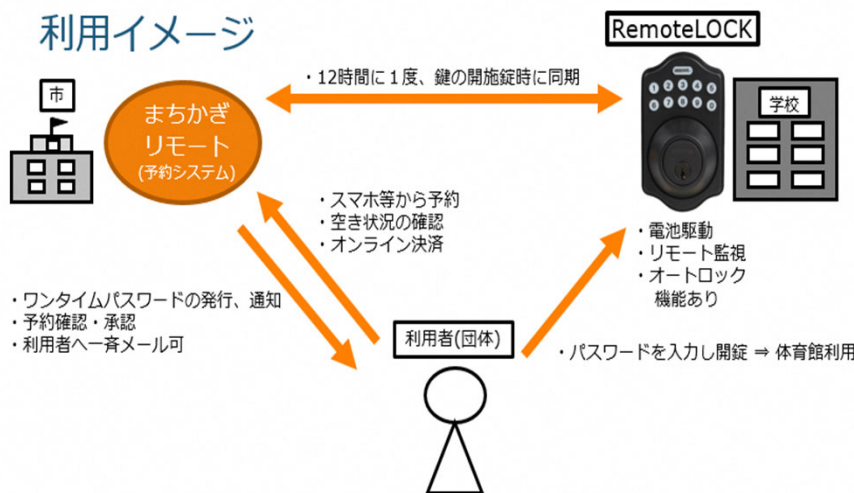
事業概要 【スマート檻罾・鳥獣害捕獲確認システム等を利用した鳥獣害対策の効率化】

実施地域	鳥取県鳥取市（百谷、滝山、北園、覚寺、円護寺地区等）	事業費	33,203千円
実施主体	鳥取県鳥取市	人口	183,383人
事業概要	<p>野生鳥獣による農産物被害は年々増加傾向にあり、農林事業者が安心して生産活動を行うことができる環境を整えるため、ICTを活用したスマート檻罾や鳥獣捕獲確認システムを導入し、捕獲に係る狩猟者等の労務の省力化・効率化を図る。また、野生鳥獣の生息域や被害対策の実施状況、捕獲情報等をマッピングし、データに基づいた効率的な捕獲や対策につなげる。</p>		
<p>具体サービス</p>	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>【スマート檻罾・鳥獣捕獲確認システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狩猟者に捕獲通知が届く ・狩猟者がスマートフォン等で位置情報や写真を添付して捕獲確認報告ができる ・GIS活用による捕獲情報・目撃情報の可視化 </div> <div style="flex: 2;"> </div> </div>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①利用者数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①利用者満足度</p> <p>②農作物被害額</p>	

事業概要 【とりみちinfo = 鳥取市版簡易スマートモビリティ事業】

実施地域	鳥取県鳥取市	事業費	70,000千円
実施主体	鳥取県鳥取市、株式会社バイタルリード等	人口	183,383人
事業概要	<p>除雪状況確認用に整備した「とりみちinfo」を通常時にも活用するため、行政と市民の双方が収集した道路の通行状況や通行止めなどの情報を公開するシステムを構築する。これにより、市民が最新の道路状況を取得することで最適な移動手段が選択できるようになるなど、安全で効率的な移動が可能となる。また、蓄積した情報を市民生活の向上に活用するため、可能な限りオープンデータ化し、二次利用を促進する。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>①道路通行状況サービス ・観光地等の渋滞が発生しやすい箇所にライブカメラを設置・公開することで、円滑なルート選択に寄与。</p> <p>②アンダーパス水位情報提供システム ・アンダーパスの水位情報を取得・公開することで、事故防止や安全な通行ルート選択に寄与。</p> <p>③④道路規制情報提供システム ・道路工事や交通規制状況、事故発生箇所等を公開することで、安心・円滑なルート選択に寄与。 ・道路占用者の利便性の向上。</p> <p>⑤市民等からの投稿 ・市民等から空、道路、川、海等の状況や緊急情報の投稿を受付。</p> <p>⑥収集データの二次利用 ・①～⑤のデータを可能な限りオープンデータ化。</p>	<p>The diagram illustrates the system's workflow. At the top, data sources include '除雪状況管理システム' (Snow management system) and 'インフラ維持投稿システム' (Infrastructure maintenance submission system) which connect to '既存システムのデータ連携' (Existing system data linkage). Additionally, 'センサー類' (Sensors) and '市民投稿' (Citizen submissions) provide 'センサー取得データ、市民からの提供データ' (Sensor acquisition data, data provided by citizens). This data feeds into the 'とりみちinfo' platform. From the platform, six key services are shown: ① '交通渋滞情報の24時間ウェブ提供' (24-hour web provision of traffic congestion info), ② '危険箇所に設置した水位計及び危険度情報の提供' (Provision of water level and hazard info from sensors at dangerous spots), ③ '道路占有時等の通行止め情報(予告通行止め)の提供' (Provision of road closure info during occupation, etc.), ④ 'WEB申請' (Web application), ⑤ '閲覧、情報収集' (Viewing and information collection) by the general public, and ⑥ '収集データをオープンデータ化し、2次利用' (Open data and secondary use of collected data).</p>	
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①サイトへのアクセス数 ②システムを利用した道路占用等件数 ③市民等からの道路状況等の投稿件数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①サービスの満足度 	

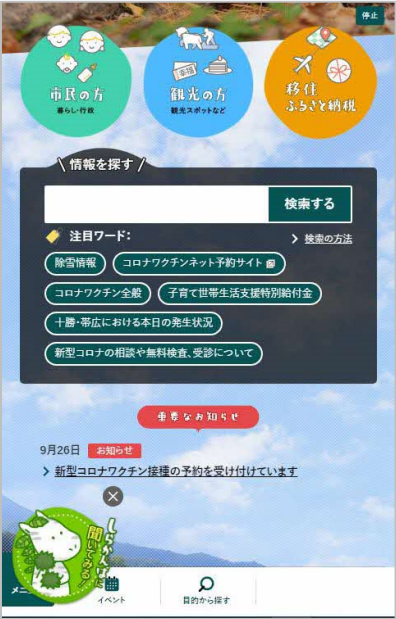
事業概要 【学校開放事業のオンライン利用予約および遠隔鍵管理】

実施地域	鳥取県米子市	事業費	16,674千円 (200,000千円以内)
実施主体	鳥取県米子市	人口	146,036人 (2023.1.31現在)
事業概要	<p>現状、各市立小中学校体育施設開放事業利用者は公民館や中学校に複数回出向いて申請等を行う必要があり、手続きの煩雑さから市民のスポーツ活動の機会を損失している。「誰もがスポーツを楽しめる環境整備」という地域課題を解決し、より多くの市民の運動機会を創出することを目的として、予約システム・スマートロック・電子決済を導入し、利用者の利便性向上を図る。</p>		
具体サービス	<p>【公共施設オンライン予約システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホやPCから公共施設の予約が24時間いつでも可能となり、場所を問わずどこでも予約ができる。また、使用料の納付についても、クレジットカード等でのオンライン決済が可能となる。 ・施設管理者側も、システムからデータ管理ができ、利用率の把握等が容易となる。 <p>【遠隔鍵管理システム Remote LOCK】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設のドア付近にキーボックス・スマートロック装置を設置し、鍵を遠隔管理する。 <p>●利用方法</p> <ol style="list-style-type: none"> ①利用者のスマホやPCを使って指定サイトから予約を実施。 ②予約後、利用日時のみ有効となる暗証番号を生成。 ③当日現地にて生成された暗証番号を入力し、開錠。 	 <p>利用イメージ</p> <p>市 ↔ まちかぎリモート(予約システム) ↔ RemoteLOCK (学校)</p> <p>・12時間に1度、鍵の開錠時に同期</p> <p>・ワンタイムパスワードの発行、通知 ・予約確認・承認 ・利用者へ一斉メール可</p> <p>・スマホ等から予約 ・空き状況の確認 ・オンライン決済</p> <p>・電池駆動 ・リモート監視 ・オートロック機能あり</p> <p>利用者(団体) → RemoteLOCK → 体育館利用 (パスワードを入力し開錠)</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①施設の利用者数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①予約システム導入の満足度 	


事業概要 【バーチャル倉吉事業】

実施地域	鳥取県倉吉市	事業費	103,400千円
実施主体	鳥取県倉吉市	人口	44,891人
事業概要	街の観光資源をバーチャル化することで、リアルとバーチャルの相互作用を活かした観光事業を構築して来訪者を増やす。また、2025年春に開館する鳥取県立美術館をデジタル化し、オープン前からバーチャルで美術館を体験できるようにする。都市部と協業したバーチャルイベントを開催し、SNS等でコミュニケーションを拡充することで、都市部から遠いという地理的不利をデジタル技術で克服し、交流人口から関係人口の増加を目指す。		
具体サービス	<p>【バーチャル倉吉】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥取県立美術館の貯蔵品等のデジタル化 バーチャルでの美術鑑賞 バーチャルでのアートイベント バーチャルでの観光 ECサイト連携 オンラインコミュニティ連携 リアルとデジタルが融合した観光商品 <p>【V-tuberによる情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> V-tuberによる地域情報の発信 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①バーチャル倉吉の来訪者数 ②オンラインコミュニティの参加者数 ③V-tuberのアクセス数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①バーチャル倉吉利用者で実際に来訪した人数 ②V-tuberサイト利用者で実際に来訪した人数 	

事業概要 【市公式ホームページリニューアル事業】

実施地域	鳥取県倉吉市	事業費	25,337千円
実施主体	鳥取県倉吉市	人口	44,891人
事業概要	<p>市公式ホームページをスマホやタブレットでも見やすく使いやすいデザインに変更し、FAQ機能・チャットボット等を導入することで、地域住民の利便性向上を図る。また、視覚に障がいのある方に向けてホームページ音声読み上げ機能を拡充し、外国語を母国語とする方に向けては外国語翻訳機能を導入することで、地域住民全てに情報が行き渡るようにする。ホームページのリニューアルに併せ、博物館等の収蔵品をデジタルアーカイブ化し、郷土文化や作家など地域の魅力を積極的に発信することで、今後の魅力あるまちづくりに資する。</p>		
具体サービス	<p>【市公式ホームページリニューアル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スマホ・タブレット端末閲覧に適したページの整備 ・ FAQ機能・チャットボット等の追加 ・ 音声読み上げ機能の拡充 ・ 外国語翻訳機能を追加 ・ 博物館等の収蔵品の電磁的記録作成及びホームページ上での公開（デジタルアーカイブ） 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①スマホ・タブレット端末で閲覧したページの割合 ②FAQやチャットボットの利用件数 ③デジタルアーカイブ化した収蔵品の数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①市HP利用者の満足度（情報を見つけやすいと感じる割合） ②博物館アーカイブ掲載データの二次利用申請件数 	

事業概要 【LINE機能拡張による市民サービスのデジタル化事業】

実施地域	鳥取県倉吉市	事業費	7,891千円
実施主体	鳥取県倉吉市	人口	44,891人
事業概要	<p>年齢を問わず広く利用されている「LINE」を活用し、行政や暮らしに関する情報発信や行政サービスのデジタル化を進め、住民一人ひとりのニーズに応じたサービスの提供を行う。具体的には、求める情報分野に応じて選択して情報を受信できるセグメント配信機能やチャットボット、アンケートやパブリックコメント機能、施設予約や空き状況の確認機能などを導入。また、より多くの方に「LINE」を活用してもらうため、高齢者向けスマホ教室も併せて実施する。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【LINEサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> セグメント配信機能 アンケート、パブリックコメント機能 ゴミ分別チャットボット、ゴミ収集日通知機能 イベント等予約・申込機能 まちの不具合報告機能 <p>【高齢者スマホ教室】</p> <p>高齢者にもLINEを活用してもらうため、高齢者向けのスマホ操作教室を開催し、前述のサービスを含め操作方法を学習する。</p>	 <p>リアルタイムで回答結果を確認</p> <p>様々な回答方式（単一選択やテキスト等）を組み合わせることで自由にアンケートを作成可能</p>	
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 倉吉市公式LINE友達登録者数 スマホ教室の参加人数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 倉吉市公式LINEサービス満足度 スマホ教室の参加者の満足度 	

事業概要 【デジタル訪問調査システム導入事業】

実施地域	鳥取県倉吉市	事業費	7,740千円
実施主体	鳥取県倉吉市	人口	44,891人
事業概要	<p>認定調査員による要介護認定の訪問調査について、現在は手書きのメモを元に、職場に戻ってから調査票を作成しており、メモの整理およびデータ入力等の調査票作成に時間を要し、介護サービス提供までに時間が掛かっている原因となっている。本事業の実施により、介護サービスを提供までに要する期間を短縮し、介護サービスを必要される方に円滑にサービス提供することで、市民の介護予防および重度化防止を図る。</p>		
具体サービス	<ul style="list-style-type: none"> 現在の紙を用いた調査票から、タブレットで調査内容の入力を行い、紙からデジタルへの変換作業に要する時間を減らす。 タッチパネルによる選択入力や音声入力、人体図への手書きメモを可能とする等、調査員が入力しやすい操作性を確保する。 記載欄の入力について、キーワードを選択してシステムで成文化することで、調査員の記載レベルのばらつきを減らす。 調査内容の整合性チェックを自動で行うことで、聞き取り作業の手戻り等に要する時間を減らす。 厚生労働省が提供する審査会システムの標準インターフェースに対応したシステムを導入し、関連業務のシステム選定時にベンダーに依存しない。 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①タブレットによる年間調査件数 ②訪問調査から調査票提出までの平均日数 ③介護申請から認定結果通知までの平均日数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①要介護3以上の認定者の割合 ② ③ 	

事業概要 【LINE公式アカウント機能拡張事業】

実施地域	鳥取県岩美町	事業費	1,353千円
実施主体	鳥取県岩美町	人口	11,000人
事業概要	<p>LINEを活用し、住民等とのよりの確な情報共有の手法を構築・展開する。 利用者（町民、移住希望者等）へ伝えたい情報、利用者が知りたい情報をピンポイントに提供する体制を構築する。</p>		
具体サービス	<p>【LINE公式アカウントの機能拡張】</p> <ul style="list-style-type: none"> セグメント機能の追加 利用者が知りたい情報を取得可能 サービス対象者への確な情報提供が可能 FAQ・チャットボット機能の追加 防災機能の追加 災害時用チャットボット設定 避難所検索設定 アンケート機能の追加 	<p>The diagram illustrates the integration of various administrative services into a LINE official account. On the left, icons represent different service categories: 観光 (Tourism), 行政手続 (Administrative Procedures), 移動 (Mobility), 医療 (Medical), 図書館 (Library), and 教育 (Education). These services are connected to a central box labeled 'LINE公式アカウント' (LINE Official Account). An arrow labeled '欲しい情報をプッシュ通知' (Push notification of desired information) points from the account to a smartphone icon. Another arrow labeled '情報の一元化' (Information centralization) points from the account to a text box stating 'LINE内で多数の行政情報が確認可能' (Confirmation of many administrative information is possible within LINE). On the right, two person icons labeled '住民等' (Residents, etc.) have arrows labeled 'アクセス' (Access) pointing to the smartphone, indicating that residents can access these services through the account.</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①LINE公式アカウント登録者数 ② ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①LINE公式アカウント登録者の満足度 ② ③ 	

事業概要 【公共施設予約システム導入事業】

実施地域	鳥取県岩美町	事業費	1,045千円
実施主体	鳥取県岩美町	人口	11,000人
事業概要	<p>公共施設の予約システムを導入し、電話等による空き状況の確認、窓口での申請手続きといった利用者の予約手間の軽減を図る。予約システムの導入により、利用者はスマートフォン等から施設の空き状況を確認して、直接利用予約（キャンセル）の手続きが可能となることで利便性の大幅な向上が期待される。</p> <p>併せて、システム導入により業務の効率化と施設管理の省力化を図る。</p>		
具体サービス	【公共施設予約システム】 <ul style="list-style-type: none"> 施設の空き状況の確認 利用予約の申し込み 	<p>システム</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者登録申請 空き状況の確認 利用予約申込 利用予約承認 施設情報提供 利用者登録 <p>情報管理</p> <p>利用者</p> <p>施設利用</p> <p>公共施設</p> <p>公民館</p>	
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 <ul style="list-style-type: none"> ①予約システム利用登録者数 	【アウトカム指標（成果指標）】 <ul style="list-style-type: none"> ①施設利用頻度 	

事業概要 【デマンド交通サービス支援システム】

実施地域	鳥取県岩美町	事業費	5,586千円
実施主体	鳥取県岩美町	人口	11,000人
事業概要	<p>路線バスの効率化を図るため、デマンド交通のデジタル予約システムを導入する。 予約受付による運行を行うことで、効率的な運行と時間の有効活用が期待され、限られた人員と資源を有効活用した運営を目指す。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【デマンド交通サービス支援システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンのアプリやタブレット端末、電話等で希望の時間と乗降場所を指定して予約する。 	<p>スマートデマンド交通システム概略</p> <p>①利用者 鈴木です、クリニックまでお願いします。 電話もしくはWEBから予約</p> <p>②予約センター 鈴木さん、10時便を予約します。 ・利用者検索・配車 ・予約情報送信 ・ドライバー選定 ・乗降情報確認 ・統計・検索・配車表</p> <p>サーバセンター ◎ NDソフトでサーバの運用・保守</p> <p>③運行事業者 配車情報確認 ・住宅地図表示 ・乗降情報送信 鈴木さん10時便で自宅からクリニック、確認しました。</p> <p>インターネットを通じてシステム提供</p> <p>【システム環境概要】 ①利用者からの電話をオペレーターが受けると共に、信号により利用者情報を検索し/パソコンに表示します。 ②システムはサーバセンターにあり、インターネットを通じて利用いたします。 ③車載タブレット機器とは、データ通信により利用者情報を送信し、乗降情報などの返信を受けます。</p>	
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①デマンド予約システムの利用者数 ② ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①デマンド交通サービス支援システム利用者の満足度 ② ③ 	

事業概要 【若桜町情報通信基盤施設更新事業】

実施地域	鳥取県若桜町全域	事業費	139,278千円
実施主体	鳥取県若桜町	人口	2,836人
事業概要	<p>本町は、都市部との情報格差の是正及び自治体から住民への平常時のお知らせや迅速な防災情報を提供することを目的に、若桜町情報通信基盤施設を整備し、平成23年4月から事業を実施している。</p> <p>スマートフォンやPCへの連携を可能とする新たなサービスの提供を実施するなど、地域社会のデジタル化を推進するため、令和5年度からの3年間で告知システムやIP告知端末等、令和7年度に防災カメラ等の更新を行う。</p>		
具体サービス	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【行政情報等発信サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政連絡、くらしの便利情報発信（アンケート等による双方向通信可） 学校や自治会からの特定のコミュニティ（ターゲット）へ向けた周知や緊急連絡が可能 テレビ電話機能付きで、町内のIP告知端末同士は無料で通話可能 スマートフォンやPCへの連携（アプリ）を可能とする新たなサービスの提供 <p>【防災カメラ映像配信サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内20箇所に「防災カメラ」を設置（河川19箇所、道路1箇所） IP告知端末及びインターネットにより、リアルタイム配信 </div> <div style="width: 50%;"> <p>若桜町情報通信基盤施設</p> <p>行政情報等発信サービス</p> <p>防災カメラ映像配信サービス</p> <p>※1 設備のほか、予約や各自の代表者による取決め可 ※2 行政連絡のほか、教育・バス時刻表やごみ収集カレンダー等の「くらしの便利情報」を配信</p> </div> </div>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①情報発信件数</p> <p>②スマートフォン・PCアプリ利用者数</p> <p>③</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①サービス利用者満足度</p> <p>②</p> <p>③</p>	

事業概要 【八頭町・未来の田舎プロジェクト Stage 2（コミュニティ部門）】

実施地域	鳥取県八頭町	事業費	4,950千円
実施主体	鳥取県八頭町、(株)シーセブンハヤブサ 等	人口	16,073人
事業概要	<p>・八頭町は、人口凡そ1万6千人、高齢化率は36.3%、人口減少が続き、R4に過疎指定を受けた。町総合戦略策定時の町民アンケート（R1実施）で最重要とされた「高齢者の孤立・空き家増加・交通弱者」への対策として、3つのプロジェクトを同時並行で実施する。</p> <p>・本プロジェクトでは、空き家対策を含むコミュニティの活性化を行うことにより、持続可能な自治体運営につなげる。</p>		
具体サービス	<p>【空き家対策含むDXコミュニティ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家対策一気通貫アプリ運用 ・ 町民専用アプリ ・ 公民館DX ・ ノーコードアプリによるアプリ自作 	<p>八頭町の田舎 PROJECT</p> <p>さあ、 未来の田舎を 一緒につくろう。</p> <p>SCROLL</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①空き家対策アプリの利用回数 ②自治会アプリの利用回数 ③オンライン施設予約件数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①空き家バンクへの登録数 ②自治会アプリの利用満足度 ③施設予約システム（電子鍵含む）利用者の満足度 	

事業概要 【八頭町・未来の田舎プロジェクト Stage 2（移動部門）】

実施地域	鳥取県八頭町	事業費	57,406千円
実施主体	鳥取県八頭町、(株)シーセブンハヤブサ 等	人口	16,073人
事業概要	<p>・八頭町は、人口凡そ1万6千人、高齢化率は36.3%、人口減少が続き、R4に過疎指定を受けた。町総合戦略策定時の町民アンケート（R1実施）で最重要とされた「高齢者の孤立・空き家増加・交通弱者」への対策として、3つのプロジェクトを同時並行で実施する。</p> <p>・本プロジェクトでは配送網再構築や地元密着配送サービスの導入により、持続可能な自治体運営につなげる。</p>		
具体サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドローン配送 ・ 物流網の再構築 ・ 町内企業による地元密着配送サービス ・ （参考）自動運転バスを別途の補助事業で申請予定 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①【物流網再構築関係】共同配送同意企業数</p> <p>②【ドローン関係】ドローン配送サービス運航日数</p> <p>③【地元密着配送関係】アプリ経由の注文数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①【物流網再構築関係】荷物配達状況に関するサービス満足度</p> <p>②【ドローン関係】ドローン配送サービスに関するサービス満足度</p> <p>③【地域密着配送関係】サービス満足度</p>	

事業概要 【八頭町・未来の田舎プロジェクト Stage 2（高齢者対策部門）】

実施地域	鳥取県八頭町	事業費	8,250千円
実施主体	鳥取県八頭町、(株)シーセブンハヤブサ 等	人口	16,073人
事業概要	<p>・八頭町は、人口凡そ1万6千人、高齢化率は36.3%、人口減少が続き、R4に過疎指定を受けた。町総合戦略策定時の町民アンケート（R1実施）で最重要とされた「高齢者の孤立・空き家増加・交通弱者」への対策として、3つのプロジェクトを同時並行で実施する。</p> <p>・本プロジェクトでは、高齢者の安心な暮らしを実現することにより、持続可能な自治体運営につなげる。</p>		
具体サービス	<p>【高齢者対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ センサー型見守りシステム ・ 高齢者スマホ操作支援（食料安全保障の確保） 	<p>八頭町の田舎 PROJECT</p> <p>さあ、 未来の田舎を 一緒につくろう。</p> <p>SCROLL</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①【センサー関係】高齢者見守りセンサーの契約数</p> <p>②【アプリ関係】高齢者等がスマホ等を利用して、飲食注文した回数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①【センサー関係】高齢者見守りサービスの満足度</p> <p>②【アプリ関係】スーパー撤退後の食料安全保障の満足度</p>	

事業概要 【オンライン施設予約システム導入事業】

実施地域	鳥取県東伯郡湯梨浜町	事業費	8,305千円 (200,000千円以内)
実施主体	鳥取県東伯郡湯梨浜町	人口	16,540人
事業概要	<p>公共施設のオンライン予約システムを導入する。現在は平日の日中に電話で聞くことしか空き状況の確認や仮予約ができないが、休みを取りにくい職種の人や乳幼児などの世話で長時間の外出が難しい人でも利用が可能になるよう、オンライン上で予約・許可を行い、当日以外は来庁しなくても済む環境を構築し、全ての住民がデジタル化の恩恵を受けられるようにする。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>【オンライン施設予約システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内で特に利用が多い施設について、オンラインで空き状況の確認、予約が可能になる環境を構築する。 ・ PC、スマートフォン、タブレット等、複数の種類の端末から利用できるものとする ・ 稼働開始後、利用者の声や町の体制整備など、多方面の視点から検証を行い、オンライン決済などの導入も検討していく。 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>① 年間の施設利用数のうちオンラインで予約等が行われた比率</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>① オンライン施設予約システムを利用した人の、5段階評価満足度の平均値</p>	

事業概要 【母子健康管理システム】

実施地域	鳥取県琴浦町	事業費	30,029千円
実施主体	琴浦町役場子育て応援課	人口	16,455人
事業概要	<p>乳幼児健診の問診・アンケートの記入や、相談予約等をWEB上で可能とし、保護者の利便性向上を図る。また、現在紙で管理している母子保健の個人カルテを電子化することで、健診や訪問等では、その場で個人データを閲覧し、個別性の高い保健指導へと活かしたり、情報集約やデータ集計等にかけている時間の削減により、相談対応等の対人援助業務に一層注力し、町民サービス向上を図る。</p>		
具体サービス	<p>【母子健康管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 母子保健事業の問診・アンケートのWeb回答 母子保健事業のWeb予約 乳幼児健診会場や訪問、面談の場で、結果や記録の即時入力、情報の即時照会 妊娠期から18歳までの健診結果や経過等の情報一元管理 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①Web問診・アンケートの利用率 ②全数訪問における電子化率 ③アウトリーチ件数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①この地域で子育てをしていきたい人の割合 ②電子化に対する保護者の満足度 ③ 	

事業概要 【窓口DXSaaS 導入】

実施地域	鳥取県大山町	事業費	29,693千円
実施主体	鳥取県大山町、株式会社ケイズ	人口	15,364人
事業概要	<p>これまで転入などライフイベント時の申請手続きは住民の申し出や職員による確認で手続きごとに各書類への記載が必要だった。その際には手続きの漏れや不備が発生してしまうことがある。窓口DXSaaSの導入により処理を自動化し手続きの漏れや不備の発生を防止するとともに、窓口滞在時間を短縮し住民の利便性向上を図る。</p>		
具体サービス	<p>【スマート窓口システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 窓口業務のデジタル化により「書かない窓口」を実現する。 • 住民との接点が多い“窓口”での自動化 • 各担当課申請窓口の集約 • 住民の申請手続きのワンストップ化 	<p>＜サービスイメージ＞</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システム処理を行う申請手続き数 ②ワンストップ窓口で処理を完結する申請手続き数 ③窓口DXSaaSの利用者数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①サービスの満足度 ②住民の窓口滞在時間 	


事業概要 【地域活性化ポイント導入事業】

実施地域	鳥取県南部町	事業費	18,546千円
実施主体	鳥取県南部町、南部町商工会	人口	10,370人
事業概要	<p>リーサスによると、南部町の2018年地域経済循環率は51.5%であり、約半数の資金が町外に流出している状況である。そこで、町内店舗で買い物したり、町の行事に参加することでポイントが貯まるローカル電子マネーをアプリ・カード併用型で導入し、全町民が使用できる状態にすることで、町内店舗での消費意欲向上や町が推進する施策への住民参画を図っていく。</p>		
<p>具体サービス</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="387 676 1155 1174" style="width: 45%;"> <p>【クラウド型電子マネーポイントシステム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子マネー機能 チャージ：現金でチャージができる 支払い：キャッシュレスでのスマートな決済ができる ポイント機能 買い物ポイント：加盟店で買い物金額に応じてポイントを進呈 行政ポイント：行政の事業に参加したり利用したりすることでポイント進呈 ポイント利用：獲得したポイントは加盟店で利用できる </div> <div data-bbox="1189 587 2040 1265" style="width: 50%;"> </div> </div>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①加盟店舗数 ②アプリダウンロード数 ③使用された電子マネーの総額 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①加盟店舗の売上上昇率 ②あいのわボランティア活動回数 ③ 	

事業概要 【デジタル技術を活用した総合的な学力向上推進事業】

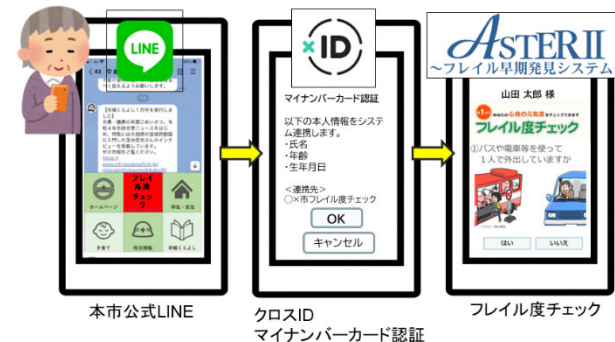
実施地域	鳥取県西部	事業費	9,876千円
実施主体	鳥取県南部町、南部町教育委員会	人口	10,503人
事業概要	<p>デジタル技術を活用した新たな取組により、以下 3 点の本町教育課題の解消・解決を図る。</p> <p>①教科書で扱われる内容の大半が近隣にはないもので、児童生徒にとっては実感を伴った学びとなっていない。</p> <p>②Society5.0という時代にあっても、本町の児童には最先端技術が実体あるものとして感じられない。</p> <p>③様々な要因により登校しづらさを感じている児童生徒を含め、全ての児童生徒の学びを保障する必要がある。</p>		
具体サービス	<p>【オンライン校外学習推進事業】課題①・②の解決</p> <ul style="list-style-type: none"> オンライン校外学習を工場や博物館等との連携によって進め、最先端技術を活用した新たな学び方を通して、児童生徒にとって実感を伴う学びを展開する。 <p>【学びフロンティア創造事業】課題②・③の解決</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての児童生徒の個別の学びに対応するために先取り学習や遡り学習が可能なクラウド型デジタルドリルを小中学校全児童生徒に整備する。 <p>【バーチャル教育支援センター整備事業】課題③の解決</p> <ul style="list-style-type: none"> アウトリーチ型の支援が届きにくい児童生徒への支援策として、自宅から利用可能なバーチャル教育支援センターを整備し、状況改善を図る。 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①オンライン校外学習の回数</p> <p>②クラウド型デジタルドリルの使用時間</p> <p>③バーチャル教育支援センターの利用人数・回数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①主体的に学ぼうとする児童生徒数の向上</p> <p>②ICT機器の利活用に対する肯定的回答の割合増</p> <p>③児童生徒の学力向上および不登校の状況改善</p>	

事業概要 【LINE機能高度化による町民の利便性向上事業】

実施地域	鳥取県南部町	事業費	2,752千円
実施主体	鳥取県南部町	人口	10,370人
事業概要	<p>幅広い年齢層の町民に利用されている「LINE」を活用し、スマホで手続きが完結する「テノヒラ役場」を実現させる。具体的には住民票などの証明書類の申請と決済、子育て関係の給付金手続き、アンケートや施設予約などあらゆる行政手続きをLINE上で行えるようにする。それにより、行政への満足度を上げて持続可能な町づくりを目指す。活用促進策として高齢者向けスマホ教室も併せて実施する。</p>		
具体サービス	<p>【LINEサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民票の写しなど各種証明書類申請機能 ・ 子育て支援関係給付金申請機能 ・ 住民アンケート、パブリックコメント機能 ・ ゴミ分別チャットボット、ゴミ収集日通知機能 ・ 施設予約機能 ・ 学校欠席連絡機能 ・ 道路の補修箇所等の連絡機能 <p>またスマートフォンがない場合でもパソコン、電話で利用できるようウェブでも同じ機能を実装予定</p>	<p>多くの住民が利用しているLINEを活用した行政サービスを展開。まるで「テノヒラに役場がある」かのような環境を目指す。</p> 	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①行政からの情報配信数 ②スマホ教室の開催回数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①南部町公式LINE友達登録数 ②「テノヒラ役場」延べ利用人数 ③利用者アンケートによる好意的評価 	

事業概要 【“誰ひとり取り残さない” 高齢者の健康管理DX】

実施地域	鳥取県日野町	事業費	13,255千円
実施主体	鳥取県日野町、株式会社エッグ	人口	2,840人
事業概要	<p>高齢化率が約50%である日野町において、健康管理におけるデジタル活用が進むことで、高齢者はより健康で自立した生活を送ることができる。そこで、現在最も普及しているコミュニケーションツールであるLINEを利用し、町民自身がいつでもフレイル度チェック及び健診予約ができる環境を提供する。これらのサービスをスマートフォンを通して提供することで、健康管理の促進と併せて高齢者がスマートフォンを使う機会を増やし、スマートフォン利用を推進することにもつなげる。</p>		
<p>具体サービス</p>	<p>(株)エッグによる健診予約、フレイル度チェックサービスをスマートフォンで提供する。(健診受診促進、介護予防啓発、デジタルデバイト解消を目的とする。)</p> <p>【公式LINEを活用したフレイル度チェックと本人認証】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公式LINEにて高齢者自らがスマートフォンでフレイル度をチェックをするコンテンツを設置 ・フレイル度チェックの本人認証にマイナンバーカードを活用 <p>【公式LINEを活用した健診予約と本人認証】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公式LINEにて町民自らがスマートフォンで健診予約をするコンテンツを設置 ・健診情報の本人認証にマイナンバーカードを活用 <p>※マイナンバーカードを利用する機能（アプリ）を付加し、カード利用の促進及び、個人情報登録のわずらわしさの解消、入力間違いによる誤情報登録のリスクを軽減</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①公式LINEのお友達登録数 ②フレイル度チェックの実施回数 ③健診予約の件数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①百歳体操参加者の変動率 ②フレイル度改善度 ③健診予約サービスの利用満足度 	



事業概要 【江府町オープンデータ促進事業】

実施地域	鳥取県江府町全域	事業費	46,440千円
実施主体	鳥取県江府町	人口	2,626人
事業概要	<p>「官民データ活用推進基本法」に基づき、民生のAIアプリケーションを活用し、地方公共団体・事業者が保有する官民データ及び統計のデジタル化とオープン化を図り、コンテンツ流通の円滑化を進める。それにより、住民や学術専門家、民間企業の知りたい、調べたい、分析したいというニーズに応え、地域住民の生活の質の向上、学生の学習、専門家の学術調査の向上、民間企業の新ビジネスの構築を推進する。</p>		
具体サービス	<p>長崎県西海市の地域商社・西海クリエイティブカンパニーが開発したLINE上で動くAIアプリケーション「文字おこしぱりぐっくん」を活用して、江府町が保有する行政情報と統計のデジタル化とオープン化を図り、二次利用の促進と住民の情報へのアクセス権限を保証する。</p> <p>①行政データと統計のデジタル化 ②見やすいサイト構築とオープン化とデータベース化 情報へのアクセス向上 ③日本語だけでなく多言語化（英語や中国語）</p> <p>同時に地域での新たなデジタルJOB化し、地域雇用を創出する。</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①オープン化サイトのアクセス件数 ②オープンデータのダウンロード数 ③オープン化サイト（英語）のアクセス件数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①デジタル化とオープン化に対する住民満足度 ②オープン化された情報の活用意識向上 ③地域雇用の創出</p>	<div data-bbox="1198 566 2027 821"> <p>As-Is</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔の情報は図書館などに行かないと見れない。 ・公開情報が探しづらい。 ・そもそも公開情報が少ない。 <ul style="list-style-type: none"> ・公開情報が多言語対応していないので、参照できない。 </div> <div data-bbox="1220 837 2027 949"> <p>LINEで250万人が利用するAIアプリケーション「文字おこしぱりぐっくん」を活用</p> <p>①文章・統計のデジタル化 ②オープンサイト構築 ③多言語化</p> </div> <div data-bbox="1198 997 2027 1252"> <p>To-be</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔の情報もHP上に公開されているため、参照しやすい。 ・情報がカテゴライズされ必要な情報を探しやすい。 ・参照できる情報が多数あり、活用しやすい。 <ul style="list-style-type: none"> ・公開情報が多言語対応しているため、参照できる。 </div>

